

# 10,000人で知事を迎えた 愛知BIGフェスティバル

11月3日(金祝)にモリコロパーク(地球博会場)を会場に10,000人の参加で、愛知BIGフェスティバルが開催されました。その様子を伝える自主活動ニュースが届きました。

その1

## 自主活動ニュース

2017年11月8日(水)  
愛知私教連自主活動部  
第71号

### 11.3 Bigフェスティバル inモリコロパーク 大村県知事、登壇!

## 「皆さんの群舞に圧倒されました。」

### 未来への扉を開ける歴史的な1日に!



▼会場到着、横田委員長直々にエスコート ▲緊迫感のある「希望プロジェクト」を展開。



▲誇りこもった構成詩を読む生徒たち(左から栗山リンダさん・黎明2、浅井美乃さん・同朋3、伊藤琴音さん・金城3、磯野夏妃さん・名大谷2)



▲群舞担当 磯野さん(名大谷2)の渾身の訴え



▲会場全体で群舞が始まった瞬間、圧倒され「驚いた表情」で全体に視野を移した瞬間

## “オータムの成功” & “署名” が、この「大村知事登壇」の是非を決める!

11月3日(金・祝) Bigフェスティバル in モリコロパークに、大村県知事が登壇して下さいました。大変お忙しい中、伊藤琴音 愛知県高校生フェスティバル実行委員長の“お手紙”に応じていただき、スケジュールを開けて、来て下さいました。その知事の応答に、感謝したいと思います。(大村県知事の発言等は別紙にて紹介。)



私たちは、「公私格差の是正」「私学助成の拡充」を訴えて、この活動に取り組んでいます。『愛知も無償化に』と声をあげてやってきました。家庭の経済状態に関係なく、誰もが自分の学びたいことを真っすぐに学べる“社会を創る”運動です。そして紛れもなく、大村県知事は、生徒の圧倒的な熱量(希望プロ)を“見てしまいました”。つまり、これが“第1回戦”だったのです。1回戦ごときで、勝負は決まりません。“2回戦”の主戦場は“オータムフェス”です。各地域会場で、各県会議員が、同じ熱量のある希望プロを“見てしまう”ことが次の決戦です。そして“3回戦(決勝戦)”は、“私学助成請願署名”です。300万人(筆)以上の“熱量ある署名”によって、県議会・大村県知事を圧倒することで、今年度の私学助成が大きく動くものと信じています。

## 「この登壇によって、未来への扉を開けたんだ」

### 群舞・希望プロに(初めて)参加した生徒を オータムへ連れ出して下さい!



「群舞を踊って、はい、終わり。」では、もったいないです。大人がそうさせているとするならば、それはある意味で『無責任』です。ここに参加した生徒たちは、大村県知事の発言を聞いている“証人”の皆さんです。きちんとその後を見せる(行動させる)のが、大人としての責任ではないでしょうか。世の中が、自分たちの行動によって動いていく様を見せることが、“本当の生きた主権者教育”ではないでしょうか。県議会(県会議員)の議論の様子を見せることも、その県議会議員に、自分たちがきちんと声を届けることも、“本当の生きた主権者教育”であるはず。選挙に行かなかった人の理由で「どうせ、投票に行ったら変わらない」「政治がよくわからない」という回答に対しての、直接的なアンサーが、「オータムに参加して、県議に訴える(声を届ける)こと」だと思います。ぜひ、群舞隊に参加した生徒(Bigに参加した生徒)をオータムへ連れ出して下さい。

### 群舞隊に参加した生徒を集約中!(中執会議にて一覧表を配布済) →自主活動部中執が、各学校の中執へお申し出ください。